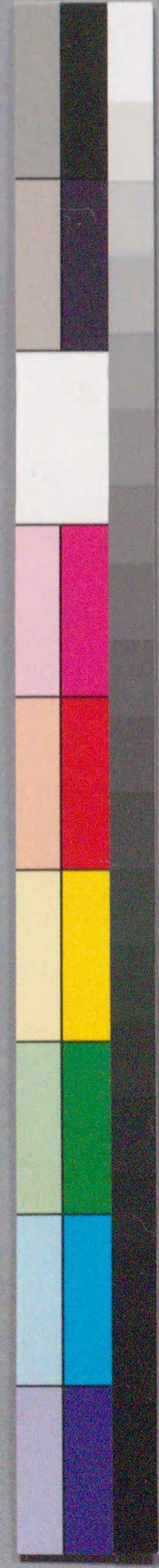


国立国会図書館 身為着宝の洪福：2巻 207-314

ガラス使用





207  
314

福の着宝

福の着宝

国立国会図書館 身為着宝の洪福：2巻 207-314

ガラス使用







舎

淮南子。禍福無門唯人主所也。神詠。不祈。不祈ともも金やち。佛借。錢。穢。人乃肩。友鶴成。一書を懐。一。盧。訪。不。是。聞。笑。方。綱。木林羅亭萬室述

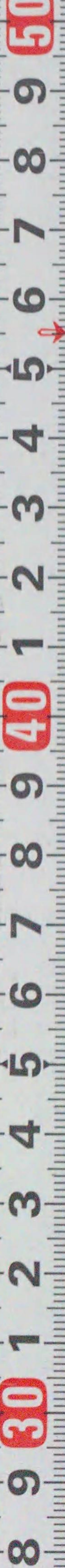






8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 6 7 8 9 50

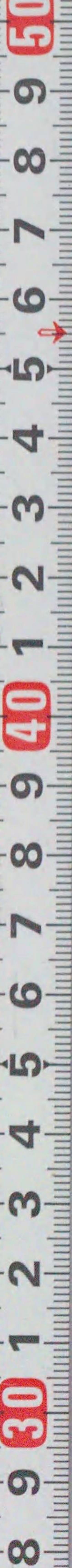






















言



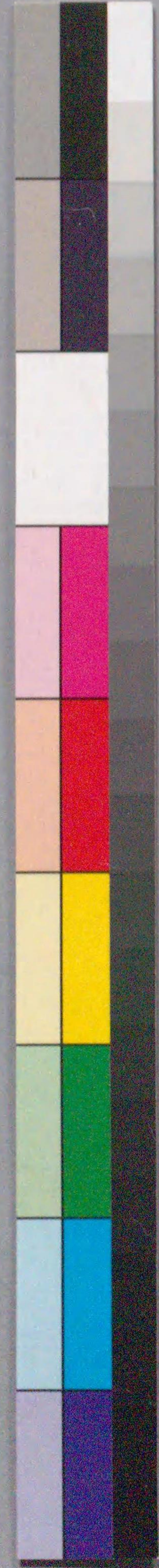


















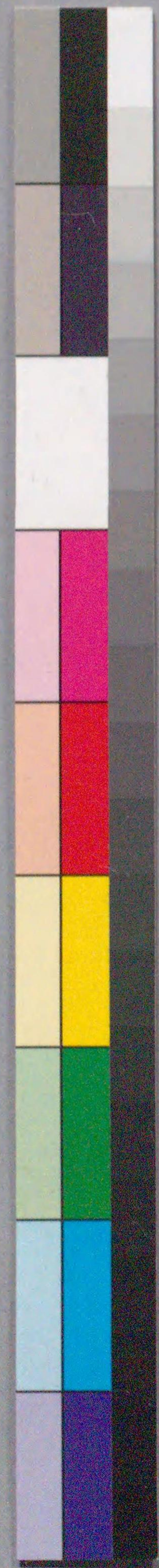
207  
314

自跋

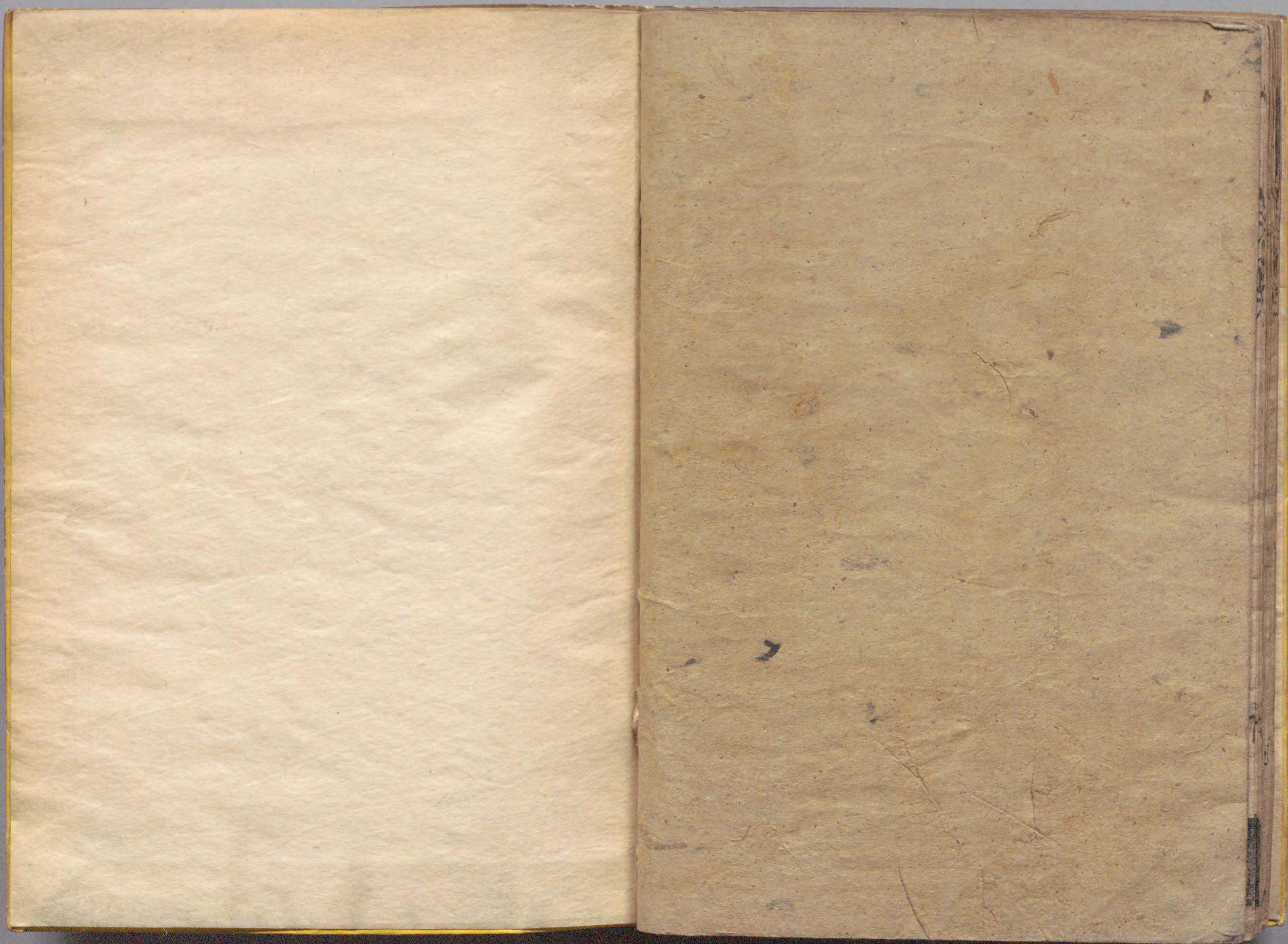
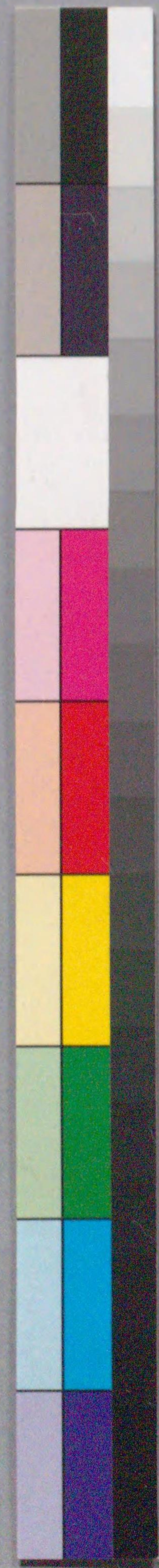
自跋  
ひらき午乃頭は出せば牛也六魯  
園の先生が考も是ハ細は江の  
心らまめはちんごく家あまこ舟舟子の  
志望ふお名は出たる作はあまら  
狩あしやまはけ尿乃あごのくーん  
考の自持田殿

陽明亭

鶴成戯作



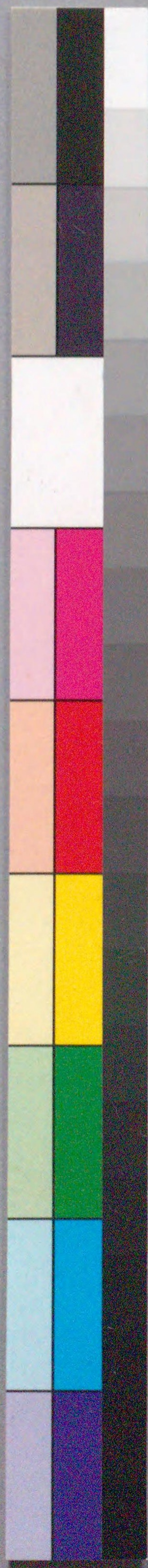




国立国会図書館 身為着宝の洪福：2巻 207-314

ガラス使用





国立国会図書館 身為着宝の洪福：2巻 207-314



ガラス使用

